

修学旅行中止が決定



348号

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

要因はコロナ感染状況

みんなでつくる
錦城高校新聞

57回生修学旅行が中止に
悔しい気持ちの一方
気持ちを切り替えている
錦城生もいました



旅行予定だった観光地(右上:大阪城、右下:カニ料理屋、
左上:たこ焼きづくり体験、左下:宿泊予定だったホテル)※写真は森本先生提供

修学旅行の中止が決定

1月8日(金)の始業式終了後、第一体育館にて2年生修学旅行の中止が発表された。2月2日(火)から2月5日(金)の3泊4日で、大阪、兵庫、京都、奈良の関西方面を訪れる予定だった修学旅行だが、現在の新型コロナウイルスの感染状況を受けてこの決断が下された。今号では先生や修学旅行実行委員、2年生の声を届ける。

「いい思い出」作りたかった

しおりPR係チーフの長絃之さん(2D)は、修学旅行に向けてしおりや新聞の作成をしていたという。修学旅行実行委員として、またしおりPR係として勉強と両立しながら仕事を進めていたそう。長さんは「高校生活で1番楽しみにしていた行事だったので、どうにか成功させて、みんなにとって『いい思い出』となる修学旅行を作りたかったです」と話す。



「人の力の偉大さを体感してほしかったです」

修学旅行の中止については、年が明けてから新型コロナウイルスの感染者が増加したため無くなるのではという予感も感じていた。しかし、実際に先生からの発表を聞くと、悲しさや悔しさが込み上げてきたという。最後に長さんはチーフとして「色々な案がすぐに出てきたので、とても議事が進めやすかったです。実行委員、しおりPR係の皆さん本当にありがとうございました。そしてお疲れ様で

事態宣言が発令され、行政からの指示もあり中止が決定しました」と話す。生徒の安心・安全を守らなければならないため致し方ないが、一生に一度の修学旅行がなくなった生徒の身になると苦しいと森本先生。訪れる予定であった「人と防災未来センター」では阪神淡路大震災の発生から復興までの流れを通して「人の力の偉大さ」を体感してほしかった。また、ギリギリまで可能性を探って下さった先生方にも感謝しています」と語った。前を向いて切り替えを

この号はオンラインで作成しました。今後も可能な限り、錦城生の声を届けていきます！

今後も先が見えない学校生活が続くかもしれないが、みんなが一丸となって乗り越えていこう。